

小中学校のインターネット接続 安定した通信環境を！

事業の内容

事業費	3,433万7千円 (小学校費 1,990万9千円、中学校費 1,442万8千円)
内容	学習系インターネット環境の構築 (市役所本庁を経由する方法から、学校から直接インターネットへ接続する方法へ変更)
	有害サイト閲覧防止対策
	「3密」予防のための学習備品 (液晶テレビ等) の購入経費

委員会での主な論議

- Q 「3密」予防のため購入する液晶テレビは、どのように使用するのか。
- A 30人以上の学級を半分に分け、分散学習するため21台の液晶テレビを購入する。(平戸小6台、田平北小2台、平戸中6台、中部中1台、南部中2台、生月中2台、田平中2台)
- Q 本庁を経由したインターネット接続から、学校から直接インターネットへ接続するよう変更するメリットは何か。
- A 本庁を経由したインターネットの接続は、時間帯によって、授業中に動画の動きが遅くなることや、画面が固まる現象があり支障があった。直接インターネットに繋げ改善を行う。



松浦鉄道支援給付金事業

松浦鉄道運営の更なる経営努力を強く求める！

委員会での主な論議

- Q 本事業の内容は。
- A 新型コロナウイルス感染症の影響により、松浦鉄道の旅客運輸収入の減収に対し、沿線自治体で運営費の支援を行うもの。
【平戸市予算額 600万円 (沿線自治体予算総額 1億3,140万円)】
- Q 現在の松浦鉄道の利用状況をみると、十分な経営努力がなされていないのではないか。運営のあり方については、今後の存続を含めしっかりと協議していくべきではないか。



- A 松浦鉄道に対する支援は、これまでは施設の整備費のみの支援で、運営費については支援をしていない状況。今回、新型コロナウイルスの関係で初めて、運営費までの支援を求められたものである。また、これまでも松浦鉄道自治体運営協議会において、松浦鉄道の存続を含めた運営のあり方についても、協議検討がなされてきているところである。今後とも存続問題も含め、十分かつ慎重に協議検討を行う必要があると考えている。



9月定例会 ここに注目！

令和2年9月定例会 (9月7日~18日)

議案第79号 令和2年度平戸市一般会計補正予算 (第7号)

ライスセンター再編整備支援事業を修正可決！

※ライスセンターとは、米などの穀類の「乾燥」・「貯蔵」・「調整」を行う施設

事業概要

JAながさき西海が事業実施者となり既存のライスセンター (以下「RC」という) を集約するための、国庫補助を活用した新たなRCの建設 (佐世保市江迎町) に対し、補助対象事業費6億1,100万円の約5% 3,054万6千円を、3市 (佐世保市、松浦市、平戸市) で支援し、作付面積割、集荷実績割で按分した額を各市が補助するもの。

委員会での主な論点！

- RCの利用料を下げるための補助であるが、平戸市における施設利用はごくわずかであり、民間精米業者を利用している大半の水稻農家との整合性はとれるのか。
- 理事者は、当初補助はしないと述べていたが、補助することとし予算計上した理由は何か。
- 本市にあるRCが閉鎖され、市外に新RCが建設される。また、市内RCの閉鎖により、来年度市内に米乾燥施設の建設計画があり、市の負担も予定されているが、本市だけが不利益を被ることにならないか。

多くの議論を踏まえ委員会に修正案が提出され賛成多数で可決！

《修正案》

RC再編補助金 878万9千円を 533万3千円減額し、345万6千円とする。

《提案理由》

本市ではRCへの出荷は、市内生産のわずか6%程度であり、RCに出荷していない農家が大半を占めているのが現状である。加えて、市外に建設されることにより出荷量がさらに減少することが予想される。また、他市とは違い新RCの建設に関連した米乾燥施設 (RD) の建設が来年度に計画され、今回の補助とは別に本市の負担が予定されている。

さらに、原則として、事前着工は認められないところであるが、諸般の事情を考慮すれば、未着工部分のみを補助対象とすることが適切と考え、減額修正を行う。

本会議においても
賛成多数で
修正可決

